

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福祉ルームみらい原		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 28日		～ 令和7年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人違った特性、違った良さを持った児童さん達に柔軟に対応しながら良い面を伸ばして行けるように努めている。自ら行動したり選んだりできる場面を提供するようにしている。	やりたいことを聞いて、可能であれば制作であったりレクレーション等 準備して、好きなことができる環境を提供する。自分で選んだりする経験を大切にしている。	企画したり、提案したりすることが 好きな児童さんがいるので一緒に企画し、それが実現できるようにスタッフと話し合いフォローしながら実現している。
2	1階と2階に分かれているので、静かに過ごしたい児童さんと活発に遊んでほしい児童さんと別れてそれぞれがやりたいことができるような環境を提供している。安心できる場であったり、充実できる場であったりしてほしい。	活発な児童さんが、ある程度発散して遊べるように、柔らかいボールで危険のないようにバスケットボールなどを楽しんでいる。	公園に出て、発散できるように、心と体の健康を図っている
3	人との関りを重視している。ごめんなさい ありがとう こうしてほしい等 自分の気持ちを相手に伝える事を学び、相手の気持ちを考えて行動できるようにサポートしている。ルームで過ごす中で 少しづつ経験しながら学んでいけるように支援している。	人と関わっていく中で必要なコミュニケーションについては 個人的に丁寧にその都度理解できるように伝えている	社会性を身に付けて行けるように、児童の人との関り方を見て、関わり方を学べるような環境を提供している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2階建てであること 見えない部分が出てくるので、しっかりとスタッフ同士が連携して行かなければならない。子どもたちの気持ちの変化などに対応できるようにしなければならない。		スタッフ間の連携を密にし、伝達しあうことできめ細やかな支援に努める。
2	ゲーム機やタブレットを利用していない。	今のご時世どこにでもタブレットであったり、ゲームがあったりする。子どもにとってはつまらなかつたりすることもあると思う	ゲーム機やタブレットがない事を逆手にとって、ない中で遊びを楽しんだり、コミュニケーション、児童同士の関りを深めていくようにつとめている。
3			